



明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 152

2022

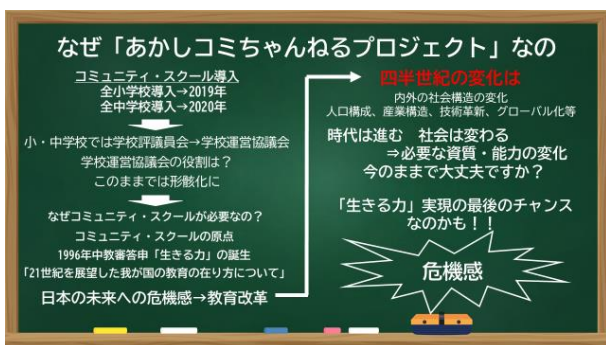
3.4

## キックオフミーティング

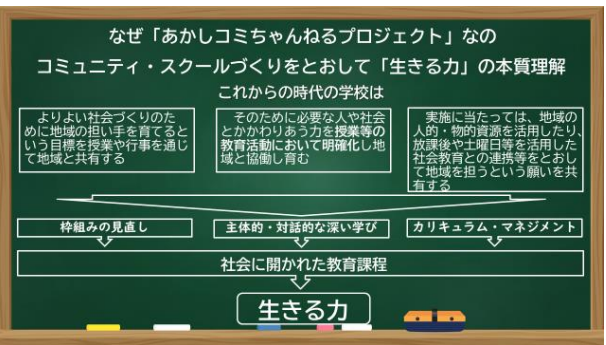
### “あかしコミちゃんねるプロジェクト” がスタートしました

コミュニティ・スクールの啓発コンテンツ制作をめざす、「あかしコミちゃんねるプロジェクト」がスタートしました。プロジェクトのスタートにあたり、本プロジェクトのアドバイザーでもある小西哲也先生（前兵庫教育大学大学院教授・CSマイスター）から「なぜ、今コミュニティ・スクールなのか」をテーマにお話をいただきました。

### 「あかしコミちゃんねるプロジェクト」って？



明石市では小学校には2019年に、中学校は2020年にそれぞれ学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが導入されました。導入が進む中で、学校運営協議会の本来の機能が発揮されているかという課題が見えてきました。例えば学校運営協議会の役割として学校経営案の承認があります。その承認するスタンスが「OK（それでいいですよ）」なのか「Let's（いいですよ、一緒にやりましょう）」なのか。そこにコミュニティ・スクールをつくるのが目的ではなく、コミュニティ・スクールが何をめざしているかということが理解できるのではと考えています。それぞれの学校運営協議会が「Let's（いいですよ一緒にやりましょう）」がベースになるよう理解を深める必要があると考えています。



コミュニティ・スクールは1996年の中教審答申から始まっています。日本の未来への危機感から「生きる力」が生まれ、教育改革がスタートしました。それではこの四半世紀をみてもどうでしょうか。人口構成・産業構造・技術革新・グローバル化…、時代は進み、社会も大きく変わってきました。それに伴い必要な資質・能力も変化してきていますが、その未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力が育つ仕組みはどうでしょうか。

「あかしコミちゃんねるプロジェクト」は、“今のままで大丈夫なのか？”といった危機感からスタートしています。コミュニティ・スクールは、「生きる力」の本質理解を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「枠組みの見直し」「主体的・対話的な学び」「カリキュラム・マネジメント」の3つの柱をまず学校・地域・保護者が理解を深め共有し、「生きる力」を育む仕組みをつくっていくものだと考えています。そうしたイノベ

ーションを生み出すコンテンツをつくることができたらと考えています。

「あかしコミちゃんねるプロジェクト」は“この指とまれ方式”で運営していきます。参加できるときに参加しながら、自分自身をトランスフォーメーションできる場となればよいと考えています。興味を持たれた方は是非ご連絡ください。

人生は9回裏まである  
人生を豊かに生きる力は  
「いつ」「どこで」始まるのだろう  
(小西哲也先生プレゼンより)

今回のキックオフミーティングの小西先生のお話で“人生は9回裏まである！人生を豊かに生きる力は「いつ」「どこで」始まるのだろう”というフレーズが私自身の中に強く残りました。その

のスライドです。野球のスコアボードを使い、人生100年時代をイメージしやすいスライドになっています。

私自身スライドを見ながら、2回裏（18歳）あたりまでの子どもの姿しか考えていなかったなと反省しているところです。私たちが想像できないくらい未来が変わる中で、もっと未来を見すえて子どもたちに必要な資質・能力を見極め、育つ仕組みを創っていかないといけないんだと考えさせられました。これからの教師には想像し、創造する2つの“そうぞう力”が必要なんだと感じました。

★15歳・18歳の進路は？  
想像ができないくらい未来は変わる

★15歳・18歳の進路は？  
想像ができないくらい未来は変わる

★15歳・18歳の進路は？  
想像ができないくらい未来は変わる

- 約1/3の企業が外国人を採用。特に1,000人以上の企業では3社に2社とその割合は増加
- 企業の平均寿命は25年
- 子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く
- 今後10~20年程度で半数の仕事が自動化
- 2045年には人工知能が人類を超える

人生は9回裏まである！

|     |     |                                  |     |     |     |     |     |    |
|-----|-----|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 1回  | 2回  | 3回                               | 4回  | 5回  | 6回  | 7回  | 8回  | 9回 |
| 5歳  | 15歳 | 35歳                              | 45歳 | 55歳 | 65歳 | 75歳 | 85歳 |    |
| 10歳 | 18歳 | 働いている時間<br>8時間/日を合計していくと全部で10万時間 | 60歳 | 70歳 | 80歳 | 90歳 |     |    |

人生は9回裏まである！

|    |     |                                  |     |     |     |     |                   |    |
|----|-----|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-------------------|----|
| 1回 | 2回  | 3回                               | 4回  | 5回  | 6回  | 7回  | 8回                | 9回 |
| 5歳 | 15歳 | 働いている時間<br>8時間/日を合計していくと全部で10万時間 | 60歳 | 70歳 | 80歳 | 90歳 | 退職後も豊かで楽しい時間を過ごせる |    |

小西先生プレゼンより

また今回、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を持って活動・経験したこと」というレポートのテーマが紹介されましたが、これは今年度の東京6大学の大学入試の出願時に提出を求められるものだそうです。大学入試も変化し、高校の中だけでの活動・経験では語れないテーマであることに高校が学びのフィールドを広げていることが見えてきたような気がします。いろいろなことが変わり始めている現実と、そうした変化を感じとってつなげて考えていくことの必要性を感じさせられました。

小西先生のお話を聞く中で、生涯学び続けていく（成長していく）仕組みが必要なことが見えてきます。学びの仕組みだけでなく、そうした学びの拠点であり、人がつながる拠点として学校という場を考えていかないといけないのだろうなと思います。それがコミュニティ・スクールの役割なんだと思います。そうしたコミュニティ・スクールの理解が深まるコンテンツが「コミちゃんねるプロジェクト」でつくっていかれたらと考えています。

(文責：北本)